



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 デリカフーズホールディングス株式会社
 コード番号 3392 URL <https://www.delica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大崎 善保

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仲山 紺之

TEL 03-3858-1037

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,042	31.3	1,354		1,015		776	
2020年3月期第2四半期	20,429	5.0	342	45.0	373	35.6	233	58.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 720百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 237百万円 (72.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第2四半期	52.62	
2020年3月期第2四半期	15.86	

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,470	7,235	32.2
2020年3月期	21,873	8,023	36.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,235百万円 2020年3月期 8,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では業績予想の算定が困難であることから未定としております。今後、予想が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点で合理的に算定することが困難であることから開示しておりません。今後、業績予想が算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	14,872,000 株	2020年3月期	14,872,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	108,764 株	2020年3月期	118,484 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	14,756,172 株	2020年3月期2Q	14,748,841 株

(注)当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
3. その他	10
(1) 最近における四半期毎の業績推移	10
(2) 部門別売上高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、政府・自治体による緊急事態宣言が発令され、全国的に外出や移動の自粛が行われたことで経済活動が停滞いたしました。また、同宣言解除後も感染拡大の第二波、第三波による影響が懸念されることなどから、景気・経済の先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

今後についても、経済活動を再開する動きは見られるものの、感染終息時期が見通せず、引き続き厳しい状況が続くものと予測されます。

当社グループの属する食品関連業界におきましても、外出や移動の自粛による外食産業の収益の落ち込み及び閉店や休業の増加が継続するなど、先行きの不透明感は増しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、従業員や取引先様等の安全確保を最優先事項とし、社内換気・マスク着用、全従業員及びご来訪者様の体調確認、座席間隔確保などのソーシャルディスタンス対応、テレワーク・時差出勤の推奨などの新型コロナウイルス感染症対策を徹底いたしました。

当社グループの主力事業であります青果物卸売業におきましては、主要な販売先である外食産業における休業状態の回復が緊急事態宣言解除以降、徐々に見受けられ、9月以降は客足が回復いたしました。大型の閉店や撤退の影響は大きく、当社グループの販売量の完全回復には至りませんでした。

このような事業環境の変容を重く受け止め、当社グループでは、新たに青果物の消費者向け直接販売（BtoC事業）に着手いたしました。ドライブスルー八百屋の展開や大型量販店での野菜ボックス販売、スーパーなどの小売店舗への青果物供給の他、ベジマルシェブランドにて独自のECサイトを立ち上げました。そして、9月には、同業他社との合併による関連会社「株式会社青果日和研究所」を設立し、一般消費者の方々に幅広く「安心・おいしい・健康」な青果物を提供する体制を整えたところです。当第2四半期連結累計期間においては、その成果は当社グループの収益に大きく寄与するまでには至りませんが、今後の当社グループの大きな収益源の一つとすべく、既存事業とともに推進していく所存です。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,042百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

利益につきましては、一部工場の一時的な縮小や業務効率化による時間外労務費の縮小など徹底的なコスト削減に努めてまいりましたが、特に顕著であった第1四半期の売上高減少影響をカバーしきれず、営業損失は1,354百万円（前年同四半期は342百万円の営業利益）、経常損失は1,015百万円（前年同四半期は373百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は776百万円（前年同四半期は233百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました（但し、9月単月では経常利益63百万円の黒字となっております）。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、8,564百万円となりました。これは、主として現金及び預金が286百万円増加した一方、売掛金が61百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、13,906百万円となりました。これは、主として繰延税金資産が236百万円、リース資産が213百万円、投資有価証券が73百万円増加した一方、建物及び構築物が163百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、22,470百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて35.9%増加し、6,557百万円となりました。これは、主として短期借入金が1,940百万円増加した一方、未払金が290百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、8,677百万円となりました。これは、主としてリース債務が221百万円増加した一方、長期借入金が582百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.0%増加し、15,235百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、7,235百万円となりました。これは、主として利益剰余金が850百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響が当社グループ全般に及んでおり、現段階において合理的に算出することが困難であるため引続き未定とさせていただきます。今後、業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,276,968	4,563,667
売掛金	3,638,084	3,576,398
商品及び製品	160,999	161,453
仕掛品	10,437	10,164
原材料及び貯蔵品	60,485	85,751
その他	229,057	170,029
貸倒引当金	△2,948	△2,759
流動資産合計	8,373,083	8,564,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,463,057	6,300,033
土地	3,639,663	3,639,663
その他（純額）	2,198,447	2,471,156
有形固定資産合計	12,301,168	12,410,853
無形固定資産		
その他	67,356	63,528
無形固定資産合計	67,356	63,528
投資その他の資産		
その他	1,133,335	1,434,893
貸倒引当金	△1,519	△3,249
投資その他の資産合計	1,131,816	1,431,644
固定資産合計	13,500,342	13,906,026
資産合計	21,873,425	22,470,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,632,816	1,766,144
短期借入金	260,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,071,141	1,111,571
未払法人税等	113,330	13,883
未払金	1,424,905	1,134,705
賞与引当金	119,329	80,929
その他	203,492	250,519
流動負債合計	4,825,017	6,557,754
固定負債		
長期借入金	8,303,440	7,720,573
退職給付に係る負債	135,230	144,193
資産除去債務	261,624	262,323
その他	325,085	550,773
固定負債合計	9,025,380	8,677,864
負債合計	13,850,397	15,235,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,377,113	1,377,113
資本剰余金	2,167,666	2,171,446
利益剰余金	4,447,991	3,597,758
自己株式	△27,025	△24,808
株主資本合計	7,965,745	7,121,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,866	110,895
退職給付に係る調整累計額	5,415	2,707
その他の包括利益累計額合計	57,281	113,602
純資産合計	8,023,027	7,235,113
負債純資産合計	21,873,425	22,470,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	20,429,099	14,042,712
売上原価	15,758,574	11,641,559
売上総利益	4,670,524	2,401,153
販売費及び一般管理費	4,328,523	3,755,375
営業利益又は営業損失(△)	342,001	△1,354,222
営業外収益		
受取利息	1,164	1,129
受取配当金	3,000	2,383
物品売却益	9,447	4,203
受取賃貸料	18,175	20,158
助成金収入	2,420	325,456
その他	14,104	14,155
営業外収益合計	48,313	367,486
営業外費用		
支払利息	15,183	16,395
休止固定資産減価償却費	—	8,757
その他	1,724	3,547
営業外費用合計	16,907	28,699
経常利益又は経常損失(△)	373,406	△1,015,434
特別利益		
固定資産売却益	175	135
投資有価証券売却益	—	136
特別利益合計	175	271
特別損失		
固定資産除却損	6,958	1,195
投資有価証券売却損	—	665
投資有価証券評価損	471	—
不動産取得税等	3,819	—
操業休止関連費用	—	6,420
その他	1,856	970
特別損失合計	13,106	9,252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	360,475	△1,024,415
法人税等	126,602	△247,950
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,872	△776,465
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	233,872	△776,465

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,872	△776,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	446	59,028
退職給付に係る調整額	3,317	△2,707
その他の包括利益合計	3,763	56,320
四半期包括利益	237,636	△720,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,636	△720,144
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	360,475	△1,024,415
減価償却費	413,134	436,301
引当金の増減額 (△は減少)	703	△36,859
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,216	5,543
受取利息及び受取配当金	△4,165	△3,512
助成金収入	△2,420	△325,456
支払利息	15,183	16,395
固定資産除却損	6,958	1,195
投資有価証券評価損	471	—
不動産取得税等	3,819	—
売上債権の増減額 (△は増加)	418,557	59,956
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△43,990	△25,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,373	133,327
未払金の増減額 (△は減少)	31,291	△19,906
その他	△16,781	94,236
小計	1,192,082	△688,641
利息及び配当金の受取額	4,155	3,503
利息の支払額	△11,380	△18,210
助成金の受取額	2,420	294,370
法人税等の支払額	△127,851	△87,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,059,425	△496,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,517,213	△466,431
無形固定資産の取得による支出	△3,420	△8,074
投資有価証券の取得による支出	△2,682	△4,991
投資有価証券の売却による収入	—	21,255
貸付けによる支出	△1,128	△1,093
敷金及び保証金の差入による支出	△1,161	△3,665
保険積立金の払戻による収入	17,274	14
その他	5,171	13,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,503,159	△449,873
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,940,000
長期借入れによる収入	1,900,000	—
長期借入金の返済による支出	△564,333	△542,436
リース債務の返済による支出	△58,021	△71,798
配当金の支払額	△117,634	△73,719
その他	△36	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,159,973	1,252,045
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	716,239	305,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,850,540	3,930,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,566,779	4,236,390

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

従来、当社及び連結子会社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、中期経営計画における設備投資計画策定を契機として、当社及び連結子会社の有形固定資産の使用状況を調査し、適正な期間損益計算の観点から有形固定資産の減価償却方法について改めて検討した結果、生産設備のこれまでの使用実態から急激な技術的・経済的な陳腐化は見られず、また今後も耐用年数にわたり安定的に稼働していくことが認められるとともに、収益に安定的に貢献していくことが見込まれることから、減価償却方法を定率法から定額法に変更することが経済実態をより適切に反映すると判断したことによるものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の売上総利益が51,676千円増加し、営業損失が72,377千円減少、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が74,027千円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大にかかる会計上の見積りについて)

前連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染拡大が当社グループの業績に与える影響が、少なくとも2020年6月まで続くという仮定のもと、会計上の見積りを会計処理に反映しておりました。これに対し、当第2四半期連結会計期間においては、当連結会計年度の第3四半期以降に業績の緩やかな回復が期待できるものの、当連結会計年度中に感染拡大前の水準に回復することは困難であるものと仮定して、会計上の見積りを会計処理に反映しております。

3. その他

(1) 最近における四半期毎の業績推移

2021年3月期（連結）

（単位：千円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	5,459,812	8,582,900		
営業損失（△）	△ 1,058,086	△ 296,135		
経常損失（△）	△ 755,719	△ 259,715		
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△ 600,752	△ 175,712		
1株当たり四半期純損失（△）	△40.72円	△11.91円		
総資産	22,451,466	22,470,731		
純資産	7,386,408	7,235,113		
1株当たり純資産	500.65円	490.08円		

2020年3月期（連結）

（単位：千円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	9,930,446	10,498,653	10,591,518	9,392,771
営業利益又は損失（△）	207,101	134,900	293,566	△ 63,889
経常利益又は損失（△）	223,418	149,988	308,577	△ 40,335
親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失（△）	138,825	95,047	199,193	△ 72,254
1株当たり四半期純利益又は損失（△）	9.41円	6.44円	13.50円	△4.90円
総資産	20,477,643	21,309,815	21,757,501	21,873,425
純資産	7,851,774	7,972,009	8,167,653	8,023,027
1株当たり純資産	532.44円	540.35円	553.61円	543.80円

（注）当社は2019年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産、1株当たり四半期純利益又は損失（△）を算定しております。

(2) 部門別売上高の状況

	2020年3月期 第2四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		2021年3月期 第2四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
カット野菜部門	8,695,355	42.5	6,520,327	46.4	△ 2,175,028	△ 25.0
ホール野菜部門	9,227,203	45.2	5,861,008	41.8	△ 3,366,195	△ 36.5
その他部門	2,506,540	12.3	1,661,377	11.8	△ 845,163	△ 33.7
合 計	20,429,099	100.0	14,042,712	100.0	△ 6,386,386	△ 31.3